

# 大阪府まちづくり実行委員会 活動報告

報告日 2005年 9月 3日(土)

報告者 労組名 ライフ労働組合 氏名 田岡 庸次郎

開催日 2005年9月1日(木)

開催場所 ひょうご・まち・くらし研究所

参加者 小林(コープこうべ労組) 森、鍛冶川(イマジカウエスト労組)  
田岡(ライフ労組) 以上4名

**内容** NPO法人ひょうご・まち・くらし研究所を訪問しました。この研究所はまちづくり・くらしづくりを推し進めている市民と積極的に連帯し、その活動を支援することや、まちづくり・くらしづくりを実現する力として利用できる社会調査の手法や地域マーケティングの手法を開発することなどを理念に掲げ、設立された団体です。この日は福田理事長と山口理事に、兵庫県で行われているまちづくり活動についてレクチャーを受け、また、労働組合としてまちづくり活動する上での様々なアドバイスを頂きました。

## 『まちづくりフォトアルバム』

(左から)小林さん、鍛冶川さん、森さん



### 《コメント》

「まちづくりには色んな分類、分野があります。得意なスキルを活かして、分野を絞って活動する方が良いでしょう！ また、一過性の活動で終わるのではなく継続した活動が求められています」とアドバイスを頂きました。

### 《コメント》

「『継続した活動』で言えば、例えば、ボランティアとしてよく行われる清掃活動。清掃すること自体は良いことです。ただし本来の目的は“ゴミをなくすこと”であるはずですが、一時的に“ゴミを捨てて終わり”なのではなく、どういったゴミの種類が多いのか？ どういった人が捨てているのか？ を継続的に分析し、ゴミをなくす努力・行動が必要だと思えます...」 継続した活動... 頑張らねば！！

(左から)山口理事、福田理事長



**まとめ・感想** 1ヶ月ほど前に訪ねた、大阪府のNPO政策研究所でお話しをお伺いした時もそうでしたが、住民が、特に商店街の方々が、自発的に、一生懸命まちづくり活動に取り組んでおられる話しを聞き、労働者として、生活者として、もっと地域を知り、関わっていく必要があると痛感しました。また、労働組合として、組合員の方々に、“まちづくり活動”を理解してもらうためのアイデアを頂戴しましたので、今後の活動に活かしたいと考えています。

次回開催日 9月 11日(日) 次回開催内容 サステナブル・コミュニティー・フォーラム 2005 IN 千里への参加